

台風15号洪水における吉野川本川(早明浦ダム、池田ダム)の洪水調節効果について

台風15号による9月16日0時から9月21日24時までの降雨量は、早明浦ダム上流域で711mm、また銅山川流域で552mm、吉野川上流域(池田ダム全流域)では618mmを記録しました。

この降雨による洪水に対し、各ダムでは洪水調節を行い、下流の被害軽減に努めました。

- ・吉野川本川の早明浦ダムでは、9月20日23時50分の最大流入量毎秒1,608m³に対して、毎秒1,039m³を放流し、毎秒569m³の洪水を貯め込みました。
- ・吉野川本川の池田ダムでは、9月21日2時50分の最大流入量毎秒7,450m³に対して、毎秒7,068m³を放流し、毎秒382m³の洪水を貯め込みました。

この結果、台風15号での洪水調節による水位低減効果は以下の通りです。

- ・早明浦ダム下流の本山橋(高知県長岡郡本山町)地点で約1.1m
- ・吉野川本川三好大橋(徳島県三好市井川町)地点で約0.4m

平成23年09月22日

国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所
独立行政法人水資源機構 池田総合管理所

お問い合わせ先

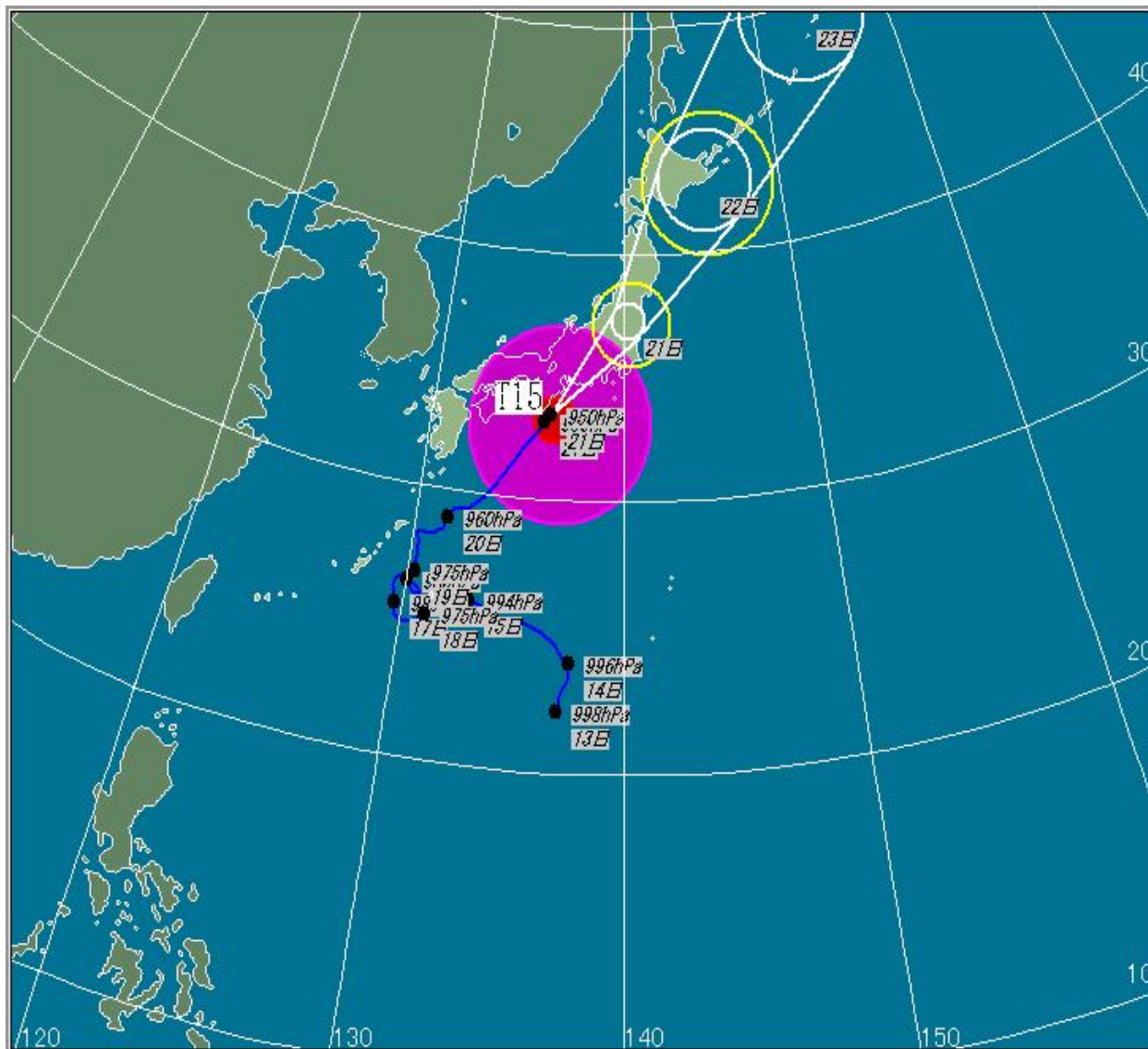
国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所
管理課長 中山 正一 (内線331)
(TEL) 0883-72-3000
独立行政法人水資源機構 池田総合管理所
第二管理課長 松森 博 (内線341)
(TEL) 0883-72-2050

注) 本資料における数値については、平成23年9月21日24時現在の速報値であり、今後修正される可能性があります。

1. 台風15号における吉野川ダム群の洪水調節効果

①台風状況

9月13日に日本の南海上で発生した台風15号は、日本周辺を覆う太平洋高気圧の南側に沿って西よりに進み沖縄上空付近で停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み17日に四国地方に大雨をもたらした。その後、20日にかけて、南から張り出した高気圧に押し上げられるように北上し、西日本付近で南下してきた偏西風に乗って速度を上げ、局地的に大雨をもたらした。

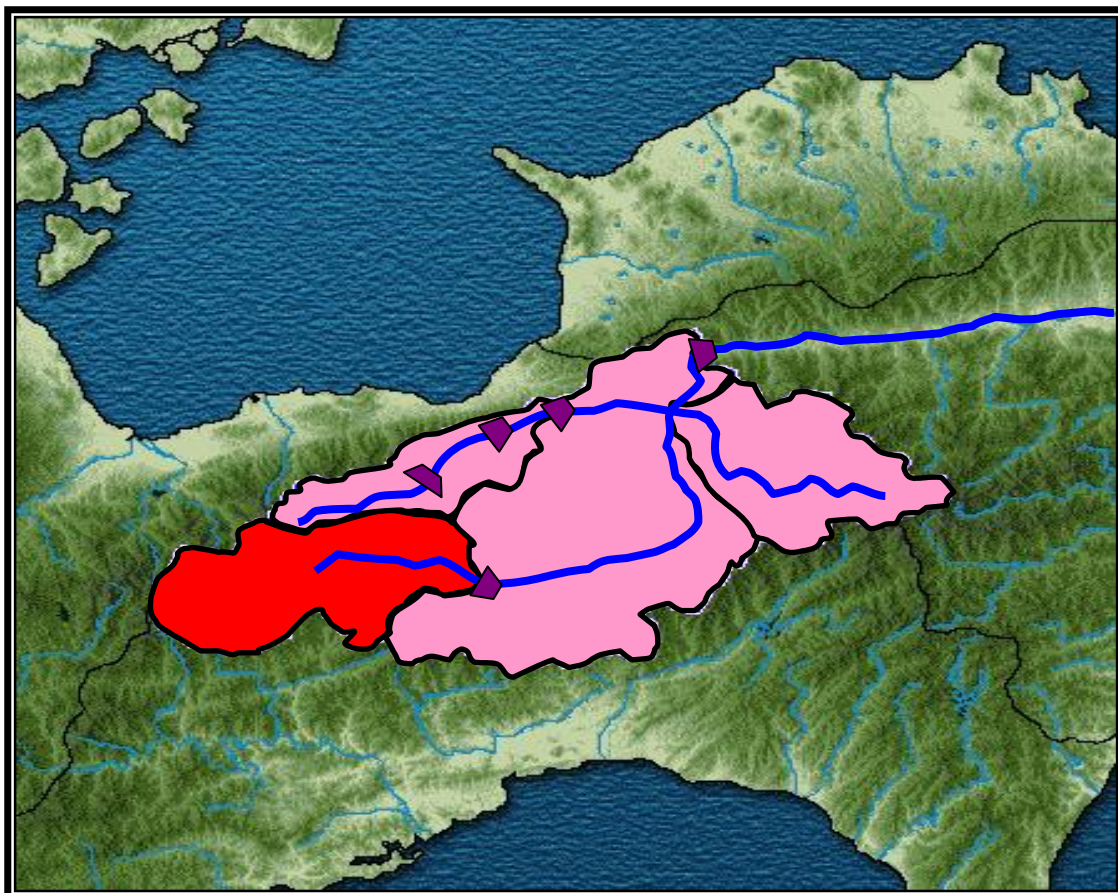


◆ 吉野川における流域平均雨量 ◆

	吉野川 (早明浦上流域)	吉野川 (早明浦下流域)	吉野川 (池田全流域)	祖谷川 (祖谷川流域)
降り始め	9月16日00時	9月16日03時	9月16日00時	9月16日02時
総雨量(mm)	711 mm	572 mm	618 mm	668 mm
時間最大雨量	9月16日 17時～18時 30 mm	9月20日 03時～04時 24 mm	9月20日 21時～22時 23 mm	9月20日 21時～22時 43 mm

◆ 銅山川における流域平均雨量 ◆

	銅山川 (富郷上流域)	銅山川 (富郷～柳瀬流域)	銅山川 (柳瀬～新宮流域)	銅山川 (新宮全流域)
降り始め	9月16日09時	9月16日11時	9月16日11時	9月16日09時
総雨量(mm)	561 mm	533 mm	522 mm	552 mm
時間最大雨量	9月16日 17時～18時 24 mm	9月16日 23時～24時 43 mm	9月16日 23時～24時 48 mm	9月16日 23時～24時 33 mm



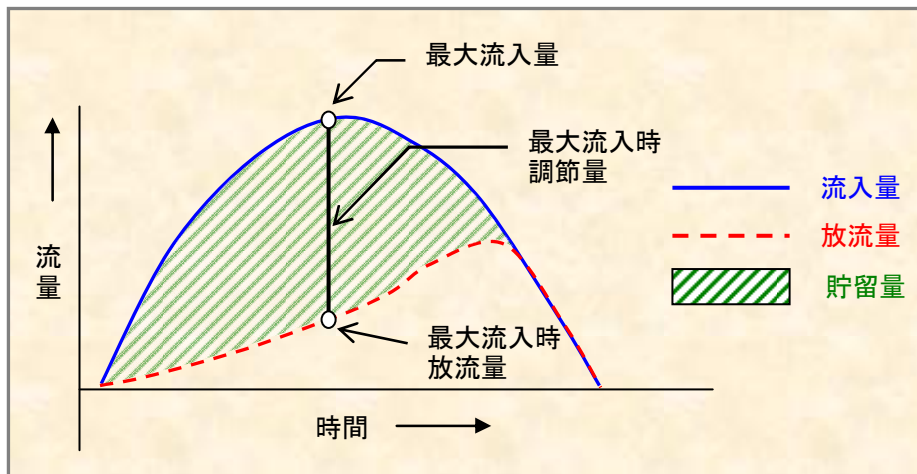
総雨量図

凡 例	
	: 700 mm 以上
	: 500 mm ~ 700 mm
	: 300 mm ~ 500 mm
	: 100 mm ~ 300 mm

③ダム諸量(洪水調節)

	早明浦ダム	池田ダム
洪水流量	800 m ³ /s	5,000 m ³ /s
最大流入量	1,608 m ³ /s	7,450 m ³ /s
観測時間	9月20日23時50分	9月21日02時50分
最大流入時放流量	1,039 m ³ /s	7,068 m ³ /s
最大流入時調節量	569 m ³ /s	382 m ³ /s

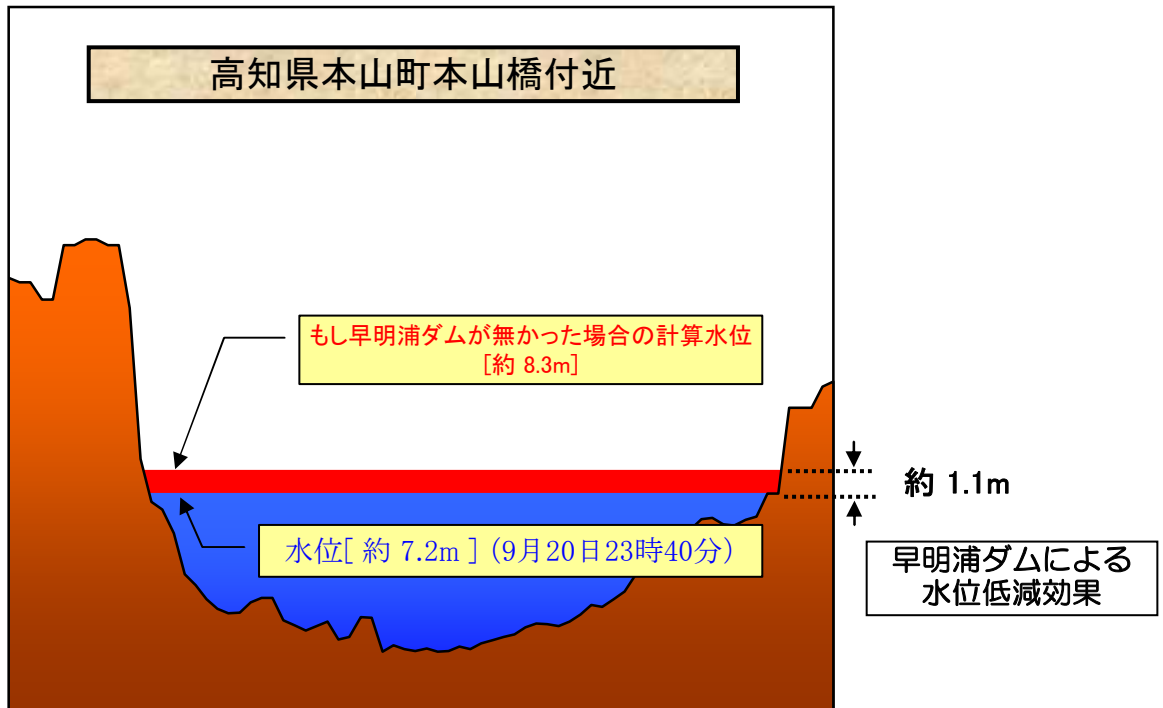
注1) 最大流入時とは下図の通り



④ダム最大流入時の洪水調節効果

■本山橋付近（高知県本山町）

※川幅約150mの河川に対し約1.1mの水位低減が図れた。



(本山橋水位観測所)

■三好大橋地点（徳島県井川町・三好大橋付近）

※川幅約200mの河川に対し約0.4mの水位低減が図れた。

